

1	科目名（教科）	数学 B	6	教科書名	
2	講座名	数学 B（数学）		新編 数学 B（数研出版）	
3	開講学年	1	7	使用教材	
4	履修区分	自由選択		3 TRIAL 数学 II + B（数研出版）	
5	単位数	2			

1 科目の目標・学習内容

数列，統計的な推測について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 評価の観点・方法

評価の観点		観点の趣旨	具体的な評価方法
【知】	知識・技能	数列，統計的な推測についてその基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	授業への取り組み／定期考査／単元テスト／レポート 他
【思】	思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする	授業への取り組み／定期考査／単元テスト／レポート 他
【態】	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	授業への取り組み／定期考査／単元テスト／レポート 他

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	第 1 章 数列	第 1 節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項（1） 2. 等差数列（2）	4	数列やその一般項の表し方について理解する。また，基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し，それらの和を求められるようにする。また，これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
5		3. 等差数列の和（2） 4. 等比数列（2） 5. 等比数列の和（2）	8		【思】	
6		第 2 節 いろいろな数列 6. 和の記号 Σ （2） 7. 階差数列（2） 8. いろいろな数列の和（2）	8	和の記号 Σ の表し方や性質を理解し，活用できるようにする。また，いろいろな数列について，その一般項や和を求めたり，和から一般項を求めたりできるようにする。	【知】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
7		第 3 節 漸化式と数学的帰納法 9. 漸化式（3.5） 10. 数学的帰納法（3.5）	8	数列の帰納的な定義について理解し，漸化式から一般項が求められるようにするとともに，複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また，数学的帰納法の仕組みを理解し，様々な命題の証明に活用できるようにする。	【思】	
8					【態】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート

9	第2章 統計的な推測	第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 (2) 2. 確率変数の期待値と分散 (4) 3. 確率変数の和と積 (4)	8	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【態】 【知】 【思】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
10		4. 二項分布 (3) 5. 正規分布 (6)	8		【知】 【思】 【態】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
11		第2節 統計的な推測 6. 母集団と標本 (2) 7. 標本平均の分布 (3)	8	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	【知】 【思】 【態】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
12		8. 推定 (2.5) 9. 仮説検定 (2.5)	8		【知】 【思】 【態】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
1						
2	第3章 数学と社会生活	1. 数学を活用した問題解決 (8) 2. 社会の中にある数学 (7)	6	社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解するとともに、日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知り、積極的に数学を活用する姿勢を培う。	【知】 【思】 【態】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
3		3. 変化をとらえる ～移動平均～ 4. 変化をとらえる ～回帰分析～	4		【知】 【思】 【態】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート

4 単元テスト

期末考査の他に、年4回(6月・8月・11月・1月)の単元テストを予定しています。テストは記述形式で、結果は各単元の【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の観点の評価に含めます。実施日や範囲等の詳細は授業内で指示します。

5 その他

提出物や授業態度等も【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の観点の評価に含めます。